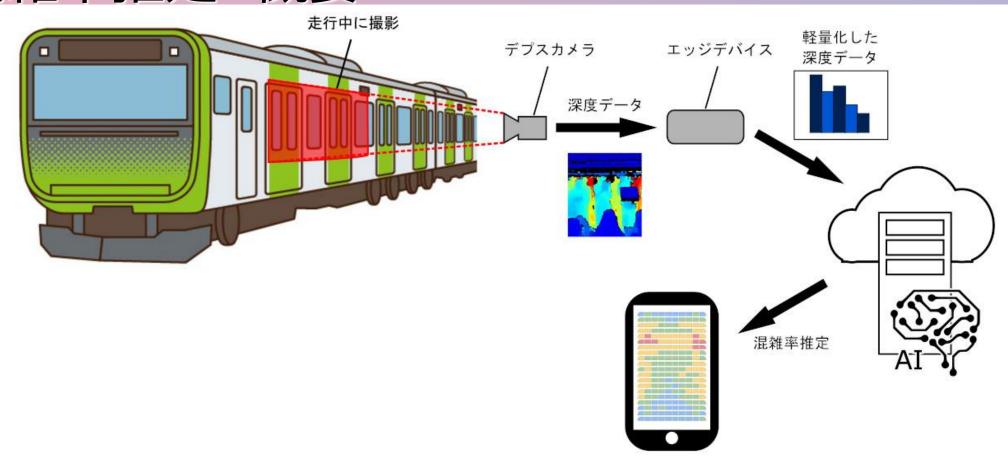
#### 混雑率推定 概要



- ・各駅ホームを通過する列車内部をステレオカメラで撮影
- ・エッジデバイスで深度データの処理を行い特徴を軽量化、クラウドサーバーへ送信
- ・クラウドサーバー上のAIにより混雑率を推定、ユーザーへ配信
- ・データを蓄積することで、モデルのチューニング及び混雑率の予測に対応
- ・クラウドサーバー構成の冗長化によりユーザーアクセスの増加に対応

### 混雑率推定 設置機器

各駅ホームへ設置する測定機器のイメージ

BOX型

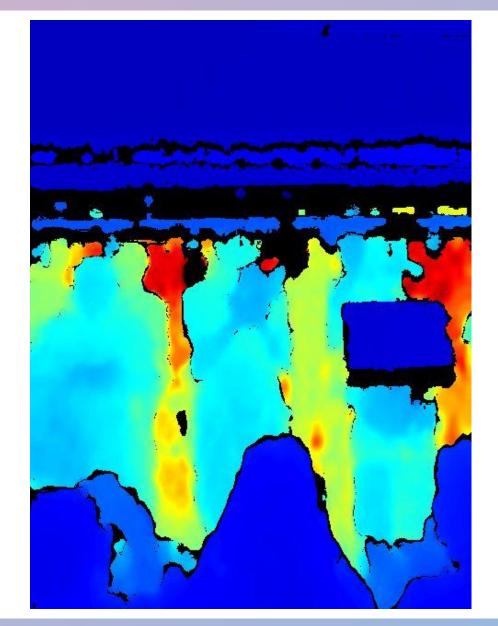




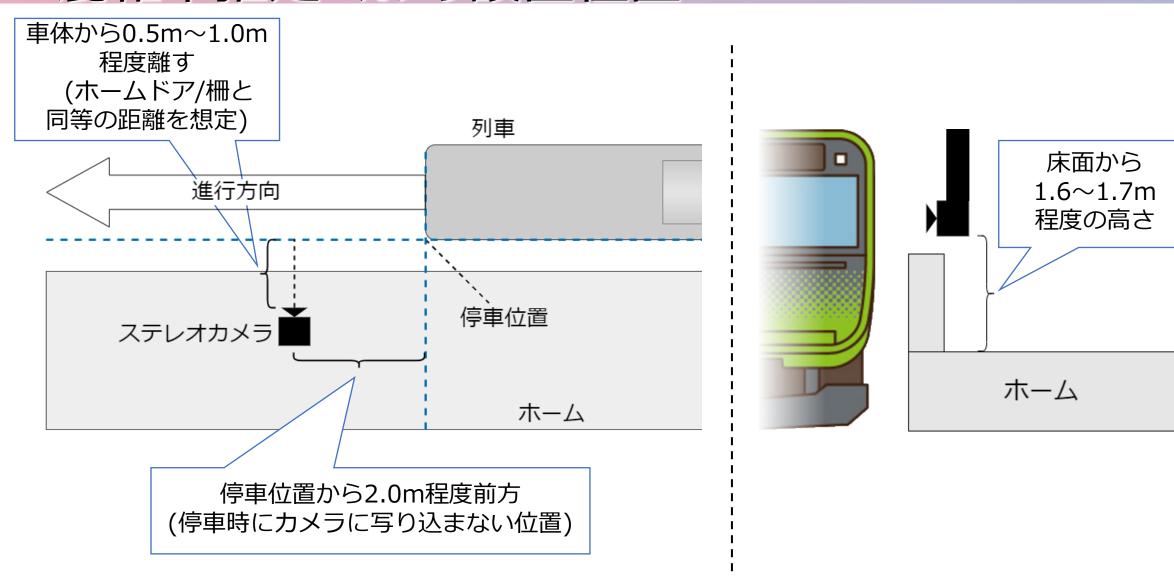


## 混雑率推定 撮影イメージ

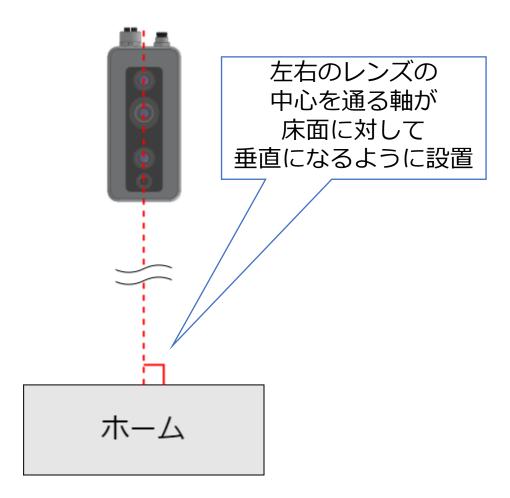
測定機器の目前を通過する列車を ステレオカメラで撮影し、 深度情報から列車内部の特徴を取得

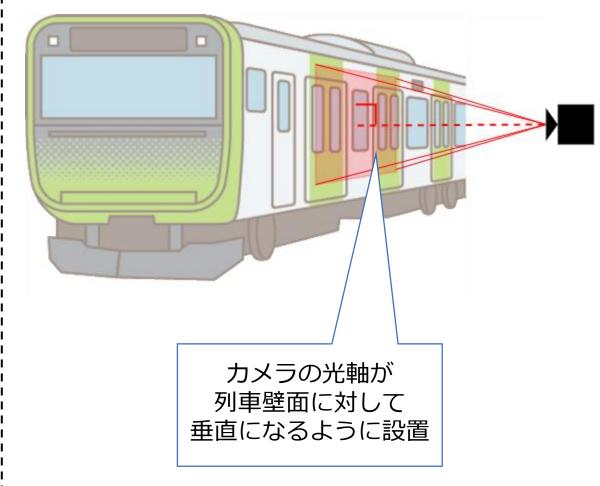


## 混雑率推定 カメラ設置位置



# 混雑率推定 カメラ設置角度



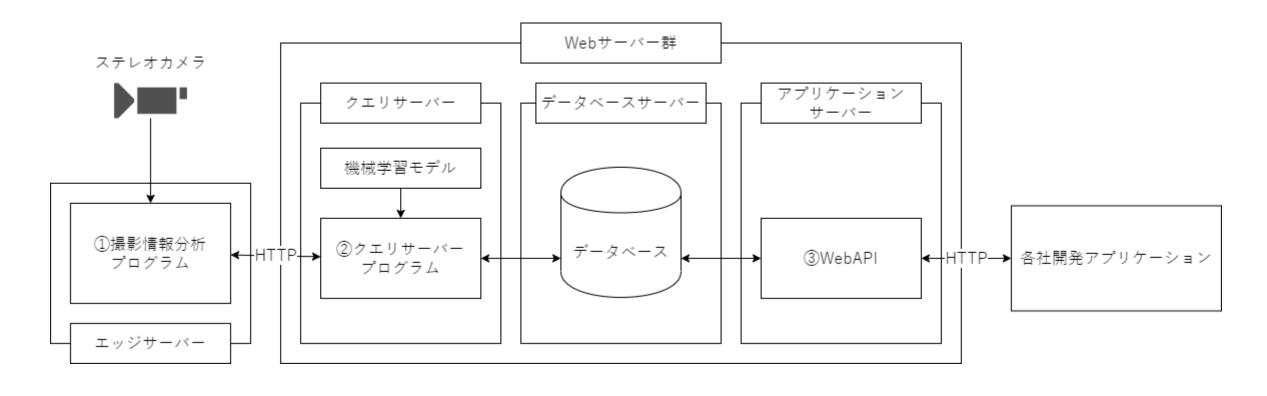


## 混雑率推定 推定値の可視化

各駅ホームで取得した特徴を基に 混雑率を推定・可視化

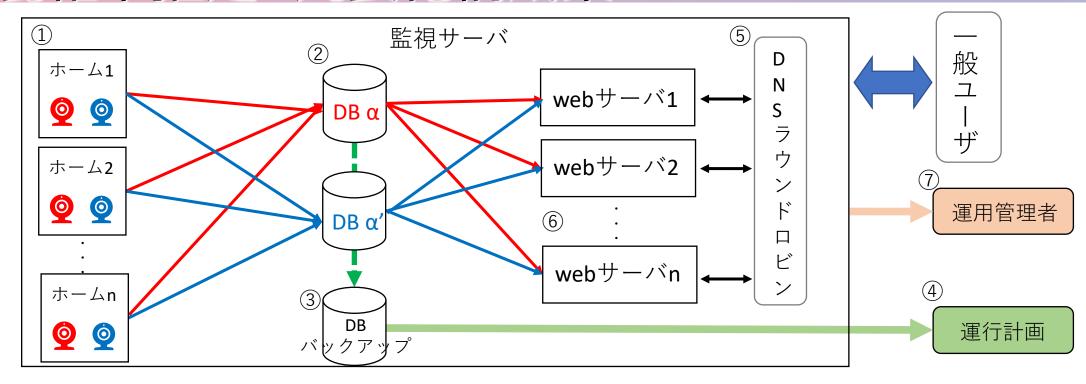


## 混雑率推定 ソフトウェア構成



- ①映像を解析、軽量化し送信
- ②機械学習モデルから推定混雑率を算出し、データベースへ登録
- ③撮影日時を条件に、算出された推定混雑率を検索・表示

### 混雑率推定 冗長化構成案



- ① 故障に備えるため、カメラを各ホームに2台ずつ設置
- ② DBサーバ停止に備えて、DBサーバを2台設置
- ③ DBのバックアップサーバを設置
- ④ DB情報から運行計画の分析(最適化)
- ⑤ webサーバ停止および負荷分散のため、webサーバを2台以上設置
- ⑥ webサーバはアクセス数に応じて随時増強
- ⑦ 全機能を監視し、異常を検知した場合に運用管理者へ通知

### 営業推進の為の支援策

#### 交通機関のコロナ対策支援 2次補正で半額補助一政府

2020年05月27日07時09分

#### Google はこの広告の表示を停止しました

政府は26日、路線バスや鉄道など地域の公共交通事業者を対象に、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を支援する補助金を創設する方針を固めた。公共交通機関の事業継続が緊急事態宣言下でも求められたことを考慮。利用者が引き続き安心して通勤、通学できるよう対策を促進する。2020年度第2次補正予算案に98億円を計上し、経費の半額を補助する。

支援の対象となるのは、駅構内や車内の消毒、抗菌対策、バス運転席の仕切りカーテンやサーモグラフィーの設置などに掛かる経費。混雑状況をリアルタイムで情報発信するシステムの導入なども想定している。

2次補正予算案をめぐっては、安倍晋三首相が自治体向けの「地方創生臨時交付金」を 2兆円増額する方針を表明。政府は新設する補助金と併せて、公共交通事業者の感染防止 策や運行支援に交付金を活用してもらいたい考えだ。